

新石川調理場整備運営事業
審査講評

令和5年11月29日

うるま市

新石川調理場整備運営事業 PFI 事業者選定等委員会（以下「選定等委員会」という。）は、新石川調理場整備運営事業（以下、「本事業」という。）に関して、優先交渉権者決定基準に基づき提案内容の審査を行い、最優秀提案者及び次点提案者を選定しましたので、審査結果及び審査講評をここに報告します。

令和5年11月29日

選定等委員会
委員長 植田 和男

1 選定等委員会の構成、役割及び開催経過

(1) 選定等委員会の構成

| 役職 | 氏名 | 所属等 |
|------|---------|------------------------|
| 委員長 | 植 田 和 男 | 日本 PFI・PPP 協会 会長兼理事長 |
| 副委員長 | 井 口 直 子 | 琉球大学 農学部 亜熱帯生物資源学科 准教授 |
| 委員 | 仲宗根 あゆみ | 日本公認会計士協会沖縄会 会員 |
| | 金 城 和 明 | うるま市企画部長 |
| | 兼 城 哲 夫 | うるま市社会教育部参事 |

(2) 選定等委員会の役割

選定等委員会は、次の事項を所掌する。

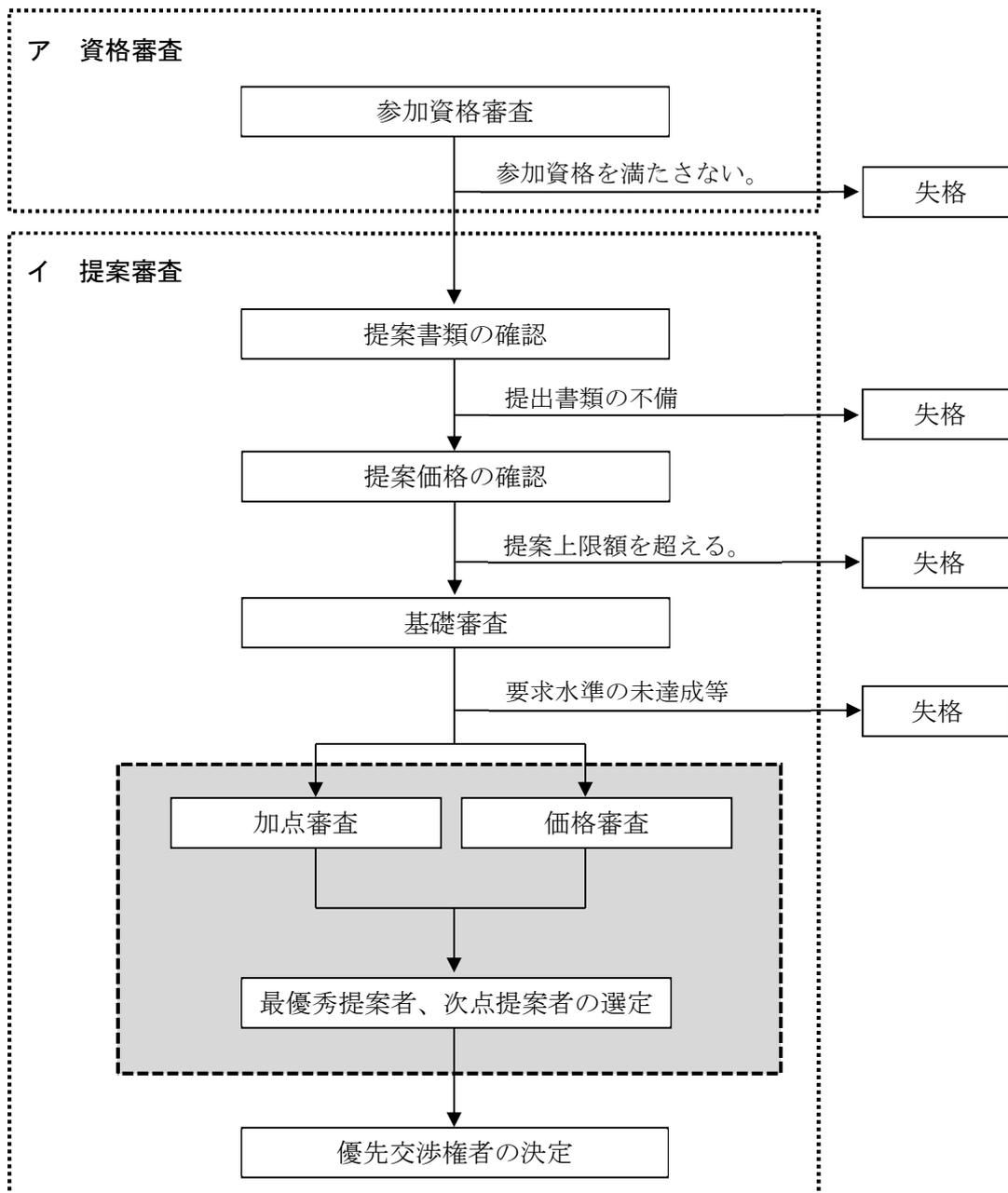
- ア 優先交渉権者決定基準の決定
- イ 提案書類の審査及び評価
- ウ その他事業者の選定について必要な事項

(3) 選定等委員会の開催経過

| 回数 | 日程 | 主な議題等 |
|-------|-----------------------------|--|
| 第 1 回 | 2023 年（令和 5 年） 2月10日（金） | 委員長及び副委員長の選出 諮問 選定等委員会のスケジュールについて（報告） 事業概要の説明（報告） 実施方針について（報告） 事業者選定方法について |
| 第 2 回 | 2023 年（令和 5 年） 3月30日（木） | 選定等委員会のスケジュールについて（報告） 特定事業の選定について（報告） 実施方針への意見・質問結果について（報告） 募集要項（案）・要求水準書（案）について（確認） 優先交渉権者決定基準（案）について（審議） |
| 第 3 回 | 2023 年（令和 5 年） 10月5日（木） | 事業の経過報告について（報告） 提案価格の確認について（確認） 基礎審査について（確認） 提案書内容の確認について（審議） 第 4 回委員会の進め方・スケジュールについて（確認） |
| 第 4 回 | 2023 年（令和 5 年） 10月20日（金） | ヒアリングでの注意事項等 プレゼンテーション・ヒアリング 意見交換（審議） 集計（事務局にて実施） 審査結果の発表（総合評価結果及び最優秀提案者の発表） |

2 審査の方法

本事業における事業者の選定は、価格その他の条件により優先交渉権者を決定する公募型プロポーザル方式に基づき、次の手順で実施した。



 選定等委員会所掌範囲

3 審査の結果

(1) 資格審査

2023年（令和5年）6月16日に提出された参加資格審査に関する書類を基に、応募者が満たすべき参加資格要件及び業務遂行能力について確認し、2023年（令和5年）6月28日付けで参加資格審査結果（参加資格があるものと認めたこと。）を各応募者の代表企業に通知した。

なお、参加資格審査結果の通知時に、受付番号として「S-13グループ」、「K-14グループ」、「O-7グループ」を各応募者に付与した。

【応募者一覧】

| 応募者 | 参加区分 | 企業名 | 役割 |
|--------------|-------------------------|-----------------------|-------------|
| S-13 グループ | 構成員 | シダックス大新東ヒューマンサービス株式会社 | 運営（代表企業） |
| | | 合同会社伊佐設計工房 | 設計・工事監理 |
| | | 有限会社造家設計研究室 | 設計・工事監理 |
| | | 平安座総合開発株式会社 | 建設 |
| | | 有限会社新垣設備 | 建設 |
| | | マサ友電設株式会社 | 建設 |
| | | アイワ企画株式会社 | 建設 |
| | | 有限会社中島工業 | 調理設備調達・搬入措置 |
| | | 株式会社中西製作所 | 調理設備調達・搬入措置 |
| | | 沖縄ビル・メンテナンス株式会社 | 維持管理 |
| | 三菱電機フィナンシャルソリューションズ株式会社 | その他 | |
| | 協力企業 | 有限会社大我組 | 建設 |
| 有限会社昭和事務機社 | | その他 | |
| K-14 グループ | 構成員 | 有限会社国吉組 | 建設（代表企業） |
| | | 有限会社嶺建設 | 建設 |
| | | 有限会社クリエイト技研 | 建設 |
| | | 日本調理機株式会社 沖縄営業所 | 調理設備調達・搬入設置 |
| | | 福山商事株式会社 | 調理設備調達・搬入設置 |
| | | 株式会社国際ビル産業 | 維持管理 |
| | | 株式会社日本ユニテック | 運営 |
| | | 日本国民食株式会社 | その他 |
| | 協力企業 | 有限会社アトリエ・門口 | 設計・工事監理 |
| | | 株式会社シンコウハウス工業 | 建設 |
| | | 有限会社宇堅総合開発 | 建設 |
| | | 株式会社サン電設 | 建設 |
| | | 株式会社大川工業 | 建設 |
| 有限会社翔設備 | 建設 | | |

| 応募者 | 参加区分 | 企業名 | 役割 |
|-------------|------|-----------|-------------|
| オー7 グループ | 構成員 | 沖電開発株式会社 | 維持管理（代表企業） |
| | | 株式会社丸善組 | 建設 |
| | | 株式会社丸石建設 | 建設 |
| | | 株式会社オーディフ | 運営 |
| | | タニコー株式会社 | 調理設備調達・搬入設置 |
| | 協力企業 | 久友設計株式会社 | 設計・工事監理 |
| | | 株式会社国吉設計 | 工事監理 |

(2) 提案審査

ア 提案書類及び提案価格の確認

市は、令和5年9月11日に提案書類の受付を行い、応募者に求めた提案書類がすべて揃っていることを確認した。さらに、提案価格書に記載された提案価格が、提案上限額の範囲内であることを確認した。

イ 基礎審査

市は、応募者の提案書類について、基礎審査項目を満たしていることを確認した。

ウ 加点審査

本事業に係る優先交渉権者決定基準に基づき、選定等委員会による提案内容の審査を行った。

審査に当たっては、参加資格審査結果の通知時において設定した受付番号（「S-13グループ」、「K-14グループ」、「O-7グループ」）により、企業名等を明らかにせず、事前審査及びヒアリング（プレゼンテーション及び質疑応答：2023年（令和5年）10月20日）を実施した。

また、以下の5段階評価により得点を付与する加点審査を行った。

【評価項目の採点基準】

| 評価 | 判断基準 | 点数化方法 |
|----|-------------------------------|-------------|
| A | 特に優れている | 各項目の配点×1.00 |
| B | 優れている（AとCの中間程度） | 各項目の配点×0.75 |
| C | 標準的な提案である | 各項目の配点×0.50 |
| D | あまり優れているとは言い難い（CとEの中間程度） | 各項目の配点×0.25 |
| E | 要求水準を最低限満たしているものの、優れているとは言い難い | 各項目の配点×0.00 |

※ 「配点×掛け率」の結果は、小数点第三位を切り捨て、小数点第二位まで取り扱うこととする。

■加点審査結果

| 審査項目 | 配点 | S-13 グループ | K-14 グループ | O-7 グループ |
|-------------------|------------|---------------|---------------|---------------|
| 1 設計・建設業務に関する提案 | 25点 | 17.70点 | 15.85点 | 13.65点 |
| (1)配置計画・外構計画 | 3点 | 2.70点 | 1.80点 | 1.95点 |
| (2)給食エリア計画 | 4点 | 2.40点 | 2.80点 | 1.80点 |
| (3)一般エリア計画 | 3点 | 2.25点 | 2.40点 | 1.50点 |
| (4)建築設備計画 | 4点 | 2.60点 | 2.20点 | 2.40点 |
| (5)調理設備計画 | 4点 | 2.60点 | 2.80点 | 2.40点 |
| (6)長寿命化、環境負荷への配慮 | 4点 | 3.20点 | 2.20点 | 1.80点 |
| (7)設計施工計画 | 3点 | 1.95点 | 1.65点 | 1.80点 |
| 2 維持管理業務に関する提案 | 8点 | 5.80点 | 4.80点 | 3.60点 |
| (1)各種維持管理業務 | 4点 | 2.80点 | 2.80点 | 1.80点 |
| (2)修繕・更新計画 | 4点 | 3.00点 | 2.00点 | 1.80点 |
| 3 運營業務に関する提案 | 28点 | 17.85点 | 16.80点 | 17.10点 |
| (1)運營業務実施体制 | 5点 | 3.75点 | 3.00点 | 2.50点 |
| (2)安心・安全な給食の提供 | 5点 | 3.25点 | 3.00点 | 3.00点 |
| (3)アレルギー対応 | 5点 | 3.25点 | 3.00点 | 3.00点 |
| (4)衛生管理の徹底 | 4点 | 2.40点 | 2.40点 | 2.40点 |
| (5)配送・回収計画 | 4点 | 1.60点 | 2.20点 | 2.60点 |
| (6)環境への取り組み | 2点 | 1.20点 | 1.10点 | 1.20点 |
| (7)防災及び災害対応 | 3点 | 2.40点 | 2.10点 | 2.40点 |
| 4 事業計画に関する提案 | 9点 | 6.30点 | 7.00点 | 5.05点 |
| (1)事業実施方針、実施体制 | 5点 | 3.50点 | 4.00点 | 2.75点 |
| (2)資金調達計画、長期収支計画 | 2点 | 1.40点 | 1.30点 | 1.20点 |
| (3)リスク管理及び業務の品質確保 | 2点 | 1.40点 | 1.70点 | 1.10点 |
| 5 その他に関する提案 | 10点 | 7.45点 | 8.85点 | 6.50点 |
| (1)地域への貢献 | 7点 | 4.90点 | 6.30点 | 4.55点 |
| (2)独自の提案 | 3点 | 2.55点 | 2.55点 | 1.95点 |
| 加点審査点 | 80点 | 55.10点 | 53.30点 | 45.90点 |

エ 価格審査

提案価格を、次の方法で点数化した。

$$\text{価格審査点} = (\text{最も低い提案価格} / \text{当該提案価格}) \times \text{配点 (20点)}$$

※ 価格審査点は、小数点第三位を切り捨て、小数点第二位まで取り扱うこととする。

■価格審査結果

| | S-13グループ | K-14グループ | O-7グループ |
|--------------|---|---|---|
| 提案価格 | 9,490,615,022 円 | 9,614,417,084 円 | 9,147,973,783 円 |
| 計算式 | $(9,147,973,783 / 9,490,615,022) \times 20$ | $(9,147,973,783 / 9,614,417,084) \times 20$ | $(9,147,973,783 / 9,147,973,783) \times 20$ |
| 価格審査点 | 19.27 点 | 19.02 点 | 20.00 点 |

オ 総合評価

加算審査点に価格審査点を加算し、総合評価点とした。

$$\text{総合評価点} = \text{加算審査点} + \text{価格審査点}$$

■総合評価結果

| | S-13グループ | K-14グループ | O-7グループ |
|--------------|----------------|----------------|----------------|
| 加算審査点 | 55.10 点 | 53.30 点 | 45.90 点 |
| 価格審査点 | 19.27 点 | 19.02 点 | 20.00 点 |
| 総合評価点 | 74.37 点 | 72.32 点 | 65.90 点 |

以上により、総合評価点が最も高いS-13グループの提案を最優秀提案として選定した。

4 審査の講評

(1) 各評価項目の講評

ア 設計・建設業務に関する提案

| 評価項目 | 審査講評 |
|---------------|--|
| (1) 配置計画・外構計画 | <ul style="list-style-type: none"> ・各グループとも、給食センターや地域の特性、利用者の安全性、周辺環境等に配慮した提案が示された。 ・S-13グループは、車両が敷地内を周回でき、機能的な動線となっている点が高く評価された。また、敷地改変の抑制に高く配慮した効果的な提案が評価された。 ・K-14グループは、敷地改変の抑制に配慮した効果的な提案が評価された。 ・O-7グループは、市の伝統工芸を活かしたデザインの提案や工事期間中の景観に配慮した提案が評価された。 |
| (2) 給食エリア計画 | <ul style="list-style-type: none"> ・各グループとも、衛生管理及び調理員の作業動線等に配慮した提案が示された。 ・S-13グループは、下処理エリア内の動線やアレルギー対応食調理室のしつらえについて、事業者のノウハウを踏まえた提案が評価された。 ・K-14グループは、下処理エリアの要求水準書を上回る動線の確保の他、煮炊き調理室の釜配置について独自の提案が高く評価された。なお、アレルギー対応調理室の調理の考え方やしつらえの独自提案については懸念事項として挙げられた。 ・O-7グループは、食材の搬入や調理作業エリアについて独自の提案が示されたが、一部給食エリア内の動線について評価が得られなかった。 |
| (3) 一般エリア計画 | <ul style="list-style-type: none"> ・各グループとも、衛生管理及び調理員の作業動線等に配慮した提案が示された。 ・S-13グループは、利用者の利便性や運営の効率化に配慮した諸室配置や動線計画に関する提案が高く評価された。 ・K-14グループは、利用者の利便性や運営の効率化に配慮した諸室配置や動線計画に関する提案が高く評価された。また、食育について給食にクローズアップした提案が評価された。 ・O-7グループは、利用者の利便性や運営の効率化に配慮した提案が示されたが、一般的な内容であった。 |
| (4) 建築設備計画 | <ul style="list-style-type: none"> ・各グループとも、各種設備について、利用者や業務従事者の快適性や保守性、更新性を踏まえた提案が示された。 |

| | |
|------------------|--|
| | <ul style="list-style-type: none"> ・ S-13グループは、調理場の照明器具を工夫することや湿気対策、塩害対策を考慮するなど、調理場の特性を踏まえた提案が高く評価された。 ・ K-14グループは、排水処理、湿気対策に加え屋内機器の塩害対策を考慮した提案が評価された。 ・ O-7グループは、調理場の照明器具を工夫することや清掃用の給湯栓、天井裏やピット内の具体的な湿気対策の提案が評価された。 |
| (5)調理設備計画 | <ul style="list-style-type: none"> ・各グループとも、十分な調理能力を有し、衛生面及び作業面の安全性に配慮した提案が示された。 ・ S-13グループは、下処理や切裁等の作業効率化を図る設備が評価された。 ・ K-14グループは、郷土食の調理や冷食提供に配慮した設備の提案が高く評価された。 ・ O-7グループは、和え物について独自の調理設備導入の他、作業性を踏まえた洗浄設備の提案が評価された。 |
| (6)長寿命化、環境負荷への配慮 | <ul style="list-style-type: none"> ・各グループとも、維持管理の容易性のほか、施設の経済性や長寿命化、光熱水費や環境負荷の低減に配慮した提案が示された。 ・ S-13グループは、環境負荷の低減に加え NearlyZEB 認証取得の提案が高く評価された。 ・ K-14グループは、光熱費等の抑制につながる導入効果の高い提案が評価された。また、受変電設備を屋内設置としている点が評価された。 ・ O-7グループは、光熱費等の抑制につながる導入効果の高い提案が評価された。また、太陽光パネルの設置が小規模であり、環境負荷の低減に対する提案は一般的であった。 |
| (7)設計施工計画 | <ul style="list-style-type: none"> ・各グループとも、確実な設計及び施工を実現する提案が示された。 ・ S-13グループは、実施設計段階からの施工 BIM を活用した提案が高く評価された。 ・ K-14グループは、一般的な提案であった。 ・ O-7グループは、工事進捗を周知する手段について具体的な提案が評価された。 |

イ 維持管理業務に関する提案

| 評価項目 | 審査講評 |
|-------------|--|
| (1)各種維持管理業務 | <ul style="list-style-type: none"> ・各グループとも、予防保全を基本とした維持管理方法により、施設の長寿命化を図る提案が示された。 ・ S-13グループは、実施項目・頻度について、詳細かつ修繕更新の低減を踏まえた提案が高く評価された。 |

| | |
|------------|--|
| | <ul style="list-style-type: none"> ・K-14グループは、給食エリアの衛生管理について、第三者による教育訓練を実施することや緊急時の消毒作業に関する提案が高く評価された。 ・O-7グループは、日常点検時の状態を記録した図面の活用や修繕頻度が高い箇所の重点点検が評価された。 |
| (2)修繕・更新計画 | <ul style="list-style-type: none"> ・各グループとも、提案する施設に応じて長寿命化を図るための修繕計画が示された。 ・S-13グループは、施設管理の実績データを活用して長期修繕計画を立案していること、事業期間や事業期間終了後も維持管理に係る費用が抑えられる合理的な計画が高く評価された。 ・K-14グループは、適切な長期修繕計画の見直しや費用対効果に配慮した修繕更新の考え方に関する提案が評価された。 ・O-7グループは、適切な長期修繕計画の見直しに関する提案が評価された。 |

ウ 運営に関する提案

| 評価項目 | 審査講評 |
|----------------|--|
| (1)運營業務実施体制 | <ul style="list-style-type: none"> ・各グループとも、安定的に給食を提供するための具体的な人員体制や実施体制について提案が示された。また、開業準備や調理技術向上について民間のノウハウを生かした取組のほか、従業員のモチベーション向上や働きやすい職場環境づくりについても各グループから独自の提案が示された。 ・S-13グループは、各部門に責任者を置いており、人数が多い点、またこれまでのノウハウを反映した提案があることが高く評価された。 ・K-14グループは、市との協議事項、スケジュールについて具体的に把握しており、早期に責任者が準備開始する提案が評価された。 ・O-7グループは、2時間喫食のための工程設定や配缶の効率化、開業準備前の連絡体制の構築及び定例報告会の開催に関する提案が評価された。 |
| (2)安心・安全な給食の提供 | <ul style="list-style-type: none"> ・各グループとも、安定しておいしい給食を提供するための調理方法や調理工程や運営備品について、提案が示された。 ・S-13グループは、個数や量の間違い防止について充実したチェック体制の提案が高く評価された。 ・K-14グループは、個数や量の間違いの事後対応策や使いやすさ、耐久性に優れた食缶の提案のほか、おいしい給食提供のための野菜のカットについて具体的な提案が評価された。 |

| 評価項目 | 審査講評 |
|-------------|---|
| | <ul style="list-style-type: none"> ・O-7については、衛生面、使いやすさ、耐久性、温度管理に優れた運営備品が評価された。 |
| (3)アレルギー対応 | <ul style="list-style-type: none"> ・各グループとも、アレルギー対応食の調理や配送を確実に実施するための取組についての具体的な提案が示された。 ・S-13グループは、充実した調理体制及び通常食とのコンタミネーション防止策についての提案が高く評価された。 ・K-14グループは、充実した調理体制及び調理の確認体制についての提案が評価されたが、提案するアレルギー対応調理室計画との整合に懸念があった。 ・O-7グループは、専従調理体制や通常食とのコンタミネーション防止策についての提案が評価された。 |
| (4)衛生管理の徹底 | <ul style="list-style-type: none"> ・各グループとも、食中毒事故及び異物混入の未然防止策等について、それぞれ実績やノウハウを踏まえた優れた提案が示された。 ・S-13グループは、衛生意識向上や感染症疑いがある場合の対応について、具体的な検査の提案が評価された。一方、第三者チェックの体制を確認できなかった。 ・K-14グループは、感染症疑いがある場合の対応について、具体的な検査の提案が評価された。また、衛生検査業務に関する第三者チェックによる提案が評価された。一方、衛生研修については一般的な提案であった。 ・O-7グループは、衛生検査業務（日常、定期、臨時）は安全性を高める第三者チェックによる提案が評価された。 |
| (5)配送・回収計画 | <ul style="list-style-type: none"> ・各グループとも、運営企業が調理・配送業務を行うことで効率的に業務を行う提案が示された。また、2時間喫食を確実に実施するため、各配送校の状況について事前に検証された配送計画が示された。 ・S-13グループは、連絡体制、個数の不足等が発生した際の対応に関する提案が評価された。一方、配送人員を1名体制とする提案が懸念事項として挙げられた。 ・K-14グループは、連絡体制、個数の不足等が発生した際の対応に関する提案が評価された。一方、配送車5台で一部3往復する提案の実現性について懸念事項として挙げられた。 ・O-7グループは、連絡体制、個数の不足等が発生した際の対応に関する提案及び配送・回収について状況を適切に把握した提案となっており高く評価された。 |
| (6)環境への取り組み | <ul style="list-style-type: none"> ・各グループとも、残菜の処分（飼料化、肥料化等）等の具体的な提案が示された。 |

| 評価項目 | 審査講評 |
|-------------|---|
| (7)防災及び災害対応 | <ul style="list-style-type: none"> 各グループとも、防災及び災害対応について具体的な提案が示された。 S-13グループは、創エネルギー、市の意向に沿った炊き出し訓練の提案が高く評価された。 K-14グループは、運営会社独自の災害支援物資の提案が評価された。一方、防災に関する地域との連携に関する具体的な提案が無かった。 O-7グループは、沖縄で災害が起きた際の具体的なイメージができており、沖縄県内の事情に精通した提案である点が高く評価された。 |

エ 事業計画に関する提案

| 評価項目 | 審査講評 |
|-------------------|--|
| (1)事業実施方針、実施体制 | <ul style="list-style-type: none"> 各グループとも、実施方針、体制及び協働策について具体的な提案が示された。 S-13グループは、市内企業のノウハウ蓄積に関する具体的な提案が評価された。 K-14グループは、正社員人数が多く、現在の雇用者への対応を検討している点、また市内企業が事業実施体制の中心となる点が高く評価された。 O-7グループは、市内企業を事業実施体制の中心となる提案が評価された。一方、構成企業の中にPFI事業の経験者がいないことが懸念事項として挙げられた。 |
| (2)資金調達計画、長期収支計画 | <ul style="list-style-type: none"> 各グループとも、資金調達及び長期収支計画について具体的な提案が示された。 S-13グループは、金融機関との具体的な調整として、融資予定の金融機関から融資相談証明書を受領している他、協議で不測の事態が生じた場合に他行から融資確約書を受領されている点が評価された。 K-14グループは、金融機関との具体的な調整として、融資確約書を受領している点が評価された。 O-7グループは、金融機関との具体的な調整として、融資関心表明書を受領している点が評価された。 |
| (3)リスク管理及び業務の品質確保 | <ul style="list-style-type: none"> 各グループとも、リスク管理及び品質確保について具体的な提案が示された。 S-13グループは、運営企業のバックアップサービサーについて構成企業以外を確保し具体的に提案している点が評価された。 |

| | |
|--|--|
| | <ul style="list-style-type: none"> ・ K-14 グループは、各業務における構成企業以外のバックアップサービサーを具体的に提案している点が高く評価された。 ・ O-7 グループは、バックアップサービサーの確保に関する考え方の提案が評価された。 |
|--|--|

オ その他に関する提案

| 評価項目 | 審査講評 |
|------------|---|
| (1) 地域への貢献 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 各グループとも、地域社会及び地域経済への貢献について、具体的な数値目標や独自の貢献策が示された。 ・ S-13 グループは、提案金額に占める市内企業発注額が高く、過半数の構成企業が市内企業である点が評価された。 ・ K-14 グループは、提案金額に占める市内企業発注額が最も高く、資材調達に関する地元産活用について具体的に示された点が高く評価された。 ・ O-7 グループは、提案金額に占める市内企業発注額が高く、構成企業の4割が市内企業である点が評価された。 |
| (2) 独自の提案 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 各グループとも、複数の具体的な独自提案が示された。 ・ S-13 グループは、事業内容に加え、頻度等に関する具体的な提案が高く評価された。 ・ K-14 グループは、事業内容に加え、頻度等に関する具体的な提案が高く評価された。 ・ O-7 グループは、事業内容に加え、実施後のアンケート結果を反映する提案が評価された。 |

(2) 審査の総評

本事業は、学校給食センターの設計・建設及び維持管理・運営を行うことを目的とするものである。民間事業者に設計・建設及び維持管理・運営を一括かつ長期的に実施していただくことにより、民間事業者の創意工夫が発揮され、市の財政負担の削減及び効率的かつ効果的な公共サービスの提供が期待されることから、PFI方式による実施となった。

今回、複数の企業から関心が寄せられた中で、最終的に4者から応募があり、その後、1者について応募辞退届が提出された。いずれの提案も、これまでの各企業の実績を基にした独自のノウハウや技術が盛り込まれており、市の要求水準を大幅に上回る提案内容が示されていた。提案書類作成における努力に対して敬意を表するとともに、心から感謝申し上げたい。

選定等委員会では、優先交渉権者決定基準に基づき、各審査項目について厳正かつ公正に審査を行った結果、価格審査点及び加点審査点における「設計・建設業務に関する提案」、「維持管理業務に関する提案」及び「運營業務に関する提案」の分野で高い得点を得たS-13グループを最優秀提案者として選定した。

今後、S-13グループは、市と事業契約を締結するための協議を行うこととなるが、市の要

求事項のみならず、提案された内容を確実に履行することが求められる。その上で、本事業を更に充実したものとし、事業期間にわたって、安全で安心な給食の提供を効率的・効果的に実施できるよう、S-13グループに対しては、次の事項に留意して事業を実施されることを望むものである。

- NearlyZEB 認証取得により、PFI 事業の先進事例として積極的に取り組むこと。
- 高い得点を得た各業務の提案について、ヒアリングにおける質疑応答を踏まえて、確実な実施を行うこと。
- 衛生管理について第三者チェック体制を検討すること。
- 確実かつ安全に配送・回収が行えるよう、配送時の添乗員を置くなど必要に応じて人員配置を行うこと。
- 食育について市と連携し積極的に実施すること。
- 事業実施方針、実施体制における業務従事者の募集においては、現在の従業員の雇用についても考慮すること。
- 屋上防水について適切な整備及び維持管理をすること。
- BIM の導入について、具体的な活用を進めていくこと。